



所信声明
正常な妊娠、出産、産褥期のための
適切な妊産婦へのサービス
**Appropriate Maternity Services for Normal Pregnancy,
Childbirth and the Postnatal Period**

背景

妊娠、出産、産褥期は、多くの場合において正常な生理的事象である。妊娠前・妊娠中・妊娠後の女性へのケアの提供は、妊娠と出産の選択に関するその女性の考え方や意見を求め、それを取り入れなければならない。

出産は身体的・社会的・文化的・情動的な現象であり、女性へのケアに関する計画と提供においては、これらの要素すべてが考慮されなければならない。また、ケアの提供は女性自身の環境において、生活の場に行われるべきである。

助産師によるケアが提供されなかったり、妊産婦ケアを女性中心ではなく医療機関側の都合に合わせて提供したりすることは、妊娠や出産の医療化を助長するものである。

所信声明

ICM は、すべての女性が妊娠中、出産時、産褥期において助産師による質の高いケアを利用できるように取り組みに励んでいる。ICM は、女性とそのパートナーが持つ親になる準備を整え教育を受ける権利を支持しており、そうした準備教育を提供するのに最適な専門職としての助産師の役割を推進することを会員団体に奨励する。

さらに ICM は、妊産婦へのサービスに関する計画立案に、助産師と女性の両方が確実に関わられるようにするために、世界規模で政策決定者と協働している。

ICM は以下のように考える。

- すべての女性が、経済的な問題とは関係なく、妊娠前・妊娠中、出産時、産褥期におい

て、助産師による質の高いケアを利用できるようにならなければならない。

- すべての女性とそのパートナーが、妊娠中に親になる準備と教育を利用できるようにならなければならない。その準備と教育は、医療機関側の都合ではなく親を中心に考えられたものでなければならない。
- すべての女性とそのパートナーが、妊娠と出産の準備と教育を助産師から受ける権利を持っていることを、知らされなければならない。これは、助産師が女性と情報を共有し、協働することなしには達成されない。
- 助産ケアの提供者としての役割の推進は、助産師自身の責務である。
- 各国において、出産する女性のニーズにかなうことを目指したこうしたサービスの計画立案は、女性とのパートナーシップの中で行われなければならない。

会員団体への推奨

- 会員団体は、一般の人々に対する助産師の役割と活動を広く知らしめるための行動が強く推奨される。
- 助産師は、女性とのパートナーシップのもとに、妊産婦へのサービスの組織化と提供についての計画立案に参加するよう努力しなければならない。

関連 ICM 文書

ICM. 2017 所信声明 出産時の適切な介入

ICM. 2014 所信声明 助産師は産婦にとって最も身近な保健医療専門家

その他の関連文書

Koblinsky et.al. 2016. Quality maternity care for every woman, everywhere: a call to action. *The Lancet*. Vol. 399 No. 1057 P2307-2320. November 2016

[http://thelancet.com/pdfs/journals/lancet/PIIS0140-6736\(16\)31333-2.pdf](http://thelancet.com/pdfs/journals/lancet/PIIS0140-6736(16)31333-2.pdf)

Public Health England: An introduction to maternity services in the NHS. September 2016

<http://www.chimat.org.uk/mslc/about/nhs>

Reidmann G. 2008. *Preparation for parenthood*. Global Library for Women.

Sandall J. The contribution of continuity of midwifery care to high quality maternity care. Report for the Royal College of Midwives.

<https://www.rcm.org.uk/sites/default/files/Continuity%20of%20Care%20A5%20Web.pdf>

2002年ウィーン国際評議会にて採択

2017年トロント国際評議会にて改訂

次回の見直し予定：2023年

2017年 公益社団法人日本看護協会、公益社団法人日本助産師会、一般社団法人日本助産学会 訳

ICM発行文書の原文については、ICMが著作権を有します。

日本のICM加盟団体である日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会は、ICMの許諾を得て日本語に翻訳しました。

日本語訳の著作権については、原文作成者であるICMと日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会に帰属します。

原文の転載引用については、ICMに連絡し使用許諾を得てください。

日本語訳の転載引用については、日本助産師会<http://www.midwife.or.jp/>に連絡し使用許諾を得てください。